

こころのユニバーサルデザイン

ID 1009407

あなたの優しさと思いやりが福祉のまちをつくります

誰もが安心して暮らせるまちをつくるためには、一人ひとりが優しさや思いやりを持った心掛け、行動をすることが大切です。私たちにできることは何か、改めて考えてみませんか。

問 保健福祉総務課 ☎ (632) 2919

日常の中での思いやりを大切にしよう

本市では、「すべての人にやさしく」というユニバーサルデザインの考え方を、一人ひとりの意識の中に取り入れるため、優しさや思いやりの気持ちを

一層育み広げていく「こころのユニバーサルデザイン運動」を推進しています。少しの思いやりの気持ちを行動に移してみましょう。

知っていますか

「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」

- ▼バリアフリー 高齢者や障がい者などが快適に生活できるよう、階段の横にスロープを設置するなど、社会生活上のバリア（障壁など）を取り除くことです。
- ▼ユニバーサルデザイン 障がいの有無や国籍・性別・年齢に関係なく、誰もが安心して暮らせるよう、すべての人に優しい製品や施設・環境などをデザインする考え方です。

できることから始めよう

思いやり行動

- ▼困っている人がいたら声を掛け、手助けをしましょう。
- ▼車椅子を使っている人や体の不自由な人のための駐車スペースは、適正に使いましょう。
- ▼妊産婦や高齢者に席を譲りましょう。
- ▼点字ブロックの上に自転車などを置かないようにしましょう。




気付いてほしい


優しさを育むマーク

周囲の人にサポートをお願いするために考えられたさまざまなマークがあります。その中の一例をご紹介します。

その他のマークなど、詳しくは、市庁舎をご覧ください。

▼例（抜粋）

 介護マーク
介護中であることを周囲に理解してもらうためのマーク

 耳マーク
聞こえが不自由なことを表すマーク

福祉のまちづくりポスターコンクール ID 1014476

■作品募集

- ▼内容 「やさしさや思いやりにあふれ、誰もが安心して暮らせる 福祉のまちづくり」をイメージしたポスターを募集するもの。
- ▼対象 市内在住か通学する小学4年生～中学3年生。
- ▼応募作品の規格 四つ切りまたはB3画用紙。縦・横、紙の色・質は自由。画材は水彩、ポスターカラー、クレヨンなど自由。
- ▼応募期限 9月3日（必着）。

■入賞作品展示

- ▼期間・会場 11月16～23日＝市役所1階市民ホール、12月1～9日＝東武宇都宮百貨店（宮園町）。
- ▼その他 作品は自作・未発表のもので、応募は

一人一点。ポスターには福祉のまちづくりに関するキャッチフレーズを必ず入れてください。参加者全員に記念品を贈呈します。

応募方法など、詳しくは、市庁舎をご覧ください。保健福祉総務課 ☎ (632) 2930へ。

＼令和7年度の実賞作品です／



▲令和7年度
宇都宮市長賞「小学生の部」
平石北小学校5年 手塚 瑛陽さん



▲令和7年度
宇都宮市長賞「中学生の部」
宮の原中学校3年 大井 瑞葉さん